

# 公益財団法人 毎日新聞大阪社会事業団 2017（平成29）年度事業報告

〔2017（平成29）年4月1日～2018（平成30）年3月31日〕

## トピックス

### 九州豪雨災害救援金



九州北部を襲った豪雨により、土砂崩れや河川氾濫などの被害が生じ、7月7日付朝刊から「九州豪雨災害救援金」の募集を開始。9月6日に第1次分として日本赤十字社福岡県支部へ800万円、同大分県支部へ200万円、福岡県小石原焼復興事業支援金へ30万円を贈呈したのをはじめ、11月3日に第2次分を同福岡県支部へ100万円、同大分県支部へ20万円、12月28日に第3次分を同福岡県支部へ50万円を贈呈。贈呈総額は1,200万円となりました。

### 配食サービス車「ボランティア微助人（ビスケット）」に贈呈



国際高齢者年の1999年から始まった「配食車贈呈事業」は、3月から毎日新聞紙上などで一般公募し、7団体から応募があった。6月に外部委員による選考委員会を開き、見守り活動を兼ね、独居高齢者に食事会と配食サービスを行っている大阪市旭区の「ボランティア微助人」に決定。8月31日に同団体が拠点にしている同区のおかがわ生協診療所で贈呈式が行われ、配食車1台を贈った。

### 世界子ども救援キャンペーン



7月21日から9月2日までの期間、大阪本社社会部・畠山哲郎記者と写真部・川平愛記者をフィリピン、カンボジアに派遣。「水銀汚染と児童労働」をテーマに、家計を支えるため零細小規模金採掘（ASGM）により、水銀中毒にむしばまれてゆく子どもたちの現状を取材し、「輝き探す闇～東南アジアの零細金採掘」のタイトルで、10月2日付朝刊から5回にわたる連載と、10月30日、11月11日付朝刊で見開き特集を掲載し、「世界子ども救援金」を募集した。

## 各公益事業ごとの事業報告詳細

(1万円以下は切り捨てて表示しています。)

### 公益事業 1 国内外の福祉に関する事業

(事業種別3, 4, 6, 7, 11, 12, 15)

「社会福祉のために」などと寄せられた一般寄付金は、3月末日現在で358件4,225万円(前年399件2,955万円。※小児がん征圧募金を含む)。歳末の「チャリティー名士寄贈書画工芸作品入札・即売会」の年間売上と歳末義援金の合計2,863万円で、総計1,245件7,088万円(前年1,279件5,925万円)となった。これらの寄託金をもとに次の事業を行った。

#### 児童福祉に関する事業

主催事業 (主催公演事業 事業区分17)

##### ◎施設児童就職予定者研修会・施設から就職する生徒に祝い金贈呈

(支払負担金より86万円を支出)

大阪府下の児童福祉施設から中学、高校などを卒業して就職する生徒を対象に、社会人としての心構えなどを学ぶ研修会を2月4日、大阪市天王寺区で開催した。また、施設から高校、短大を卒業して就職する86人(全員)に激励の意味を込めて祝い金を1人1万円ずつ贈呈。大阪児童福祉事業協会アフターケア事業部、大阪府社会福祉協議会と共催。(研修会は1975年～・祝い金は1962年～)

共催分担金事業(その他特定団体や弱者への救援事業 事業区分18)

##### ◎ゆうゆう(フレンドシップ)キャンプ

(支払負担金より40万円支出)

被虐待児童を対象に、共同生活を通じて自立心や社会性を育てることを目的とした1997年からの継続事業。8月9、10日に大阪府岬町の大阪府立海洋センターで1泊2日のキャンプを実施。11月3日に大阪府河南町のワールド牧場、2018年2月3日には大阪市港区の八幡屋公園、大阪プール(アイススケート場)で日帰りキャンプを実施。大阪府青少年活動財団、府下の児童家庭相談室と共催。主催者分担金として40万円を支出した。

##### ◎第26回そよかぜ杯ボウリング大会

(支払負担金より60万円を支出)

6月25日、大阪市北区の桜橋ボウルで近畿各地の交通遺児をはじめ、病気・災害遺児らとその家族など110人が交流した。大阪交通遺児を励ます会と共催。開催経費60万円を分担助成した。

◎小学6年生宿泊交流会「ハチ北林間ホーム」

(支払負担金より10万円を支出)

8月8～10日、大阪市が管轄する児童福祉施設の6年生ら40人を、兵庫県香美町のハチ北高原に招待した。大阪市、大阪市児童福祉施設連盟と共催。開催経費10万円を分担助成した。

◎第32回駅伝・ロードレース大会

(支払負担金より5万円を支出)

2月3日、大阪市が管轄する児童福祉施設の小・中学生約200人が参加する駅伝ロードレース大会を大阪府吹田市の弘済小中学校グラウンドにて開催。大阪市、大阪市児童福祉施設連盟と共催。開催経費5万円を分担助成した。

◎第49回新春こども大会

(支払負担金より10万円を支出)

1月28日、大阪市が管轄する児童福祉施設の子どもたちが冬休みに練習した踊りや演劇などを発表する「新春こども大会」を大阪市天王寺区の区民ホールで開催。大阪市、大阪市児童福祉施設連盟と共催。開催経費10万円を分担助成した。

(キャンペーン事業 事業区分8)

◎母の日・父の日募金キャンペーン

(支払助成金より123万円を支出)

「プレゼントをあげる親がもういない」という声をきっかけに、親を亡くしたり、一緒に暮らせない子どもたちへの支援にかえるキャンペーン。5月10日と6月14日付朝刊で募金を呼びかけ、45件123万円が寄せられた。この中からC V V (社会的養護の当事者支援活動)と、子どもセンターぬっくに各31万円、あしなが育英会に61万円を贈呈した。

児童福祉特定団体助成・支援事業(文末のカッコ内は:支払助成金または経費)

\*母子生活支援施設「母と子の一泊旅行」=7月8～9日、大阪府内の2民間母子寮の親子40人を、和歌山県の白浜温泉と白浜アドベンチャーワールドへのバス旅行に招待。大阪府民間母子生活支援施設連絡協議会の主催。本団が単独で助成後援した。(28万円)

\*琵琶湖セツルの家=7月1日～8月31日、滋賀県大津市の琵琶湖畔に宿泊施設を開設し、保育所、児童館、子供の家などの利用者に開放。大阪市地域福祉施設協議会の主催。本団が単独で助成後援した。(8万円)

\*ふれあいキャンプ=8月22～24日、毎日新聞社とともに愛の手運動(里親さがし運動)を展開する家庭養護促進協会が主催する小学1年生以上の里子を対象としたキャンプ。徳島県阿南市のYMCA阿南国際海洋センターで開催。本団が単独で助成後援した。(18万円)

\* 第64回児童福祉施設スポーツ大会 = 8月23~24日、名古屋市の大高緑地公園野球場で開催。本団が助成後援した。(1万円)

\* 自立支援研修(いずみサロン・職業体験実習・自立支援ブック作成) = 10月7日~2018年2月3日、名古屋市内の児童養護施設で暮らす中学3年~高校3年生までを対象に、調理体験や職業体験を通じて就労について学び、自立のための研修を4回行った。昭徳会「就労支援事業サポートいずみ」の主催。本団が助成後援した。(39万円)

\* 講演会「発達障害という生きづらさを抱える子どもたちに、施設内でできる支援を事例から考える」 = 10月28日、北海道大学名誉教授で児童精神科医の田中康雄さんを招き、児童福祉施設・児童相談所職員等を対象に、発達に課題を抱える子どもへの具体的な関わり方を実践的にアドバイスする講演会を大阪市天王寺区のたかつガーデンで開催。大阪児童福祉事業協会アフターケア事業部の主催。本団が単独で助成後援した。(50万円)

\* 第45回北摂子ども大会 = 12月3日、北摂地域の児童養護施設などに暮らす子どもたちのスポーツ大会。大阪府茨木市公園(南)グラウンドで開催。北摂児童施設連盟の主催。本団が単独で助成後援した。(10万円)

#### 助成を伴わない事業

\* 児童施設に絵を贈る運動 = 12月末、子どもたちの情操教育の一環として「チャリティー名士寄贈書画工芸作品入札・即売会」に寄せられた作品から絵画6点を愛知・岐阜・三重県内の児童養護施設に贈った。また、3月にも広島修道院など、広島県内の児童福祉施設3カ所に絵画3点を贈呈した。

#### 高齢者福祉に関する事業

##### 主催事業

(助成「応募型」事業 事業区分13)

◎ 配食サービス車贈呈事業 (支払助成金より170万円を支出)

\* トピックスで紹介。3ページをご参照ください。

#### 医療福祉に関する事業

(キャンペーン、〇〇月間事業 事業区分8)

◎ 小児がん征圧キャンペーン (支払助成金より550万円を支出)

1996年から毎日新聞社と展開している「生きるー小児がん征圧キャンペーン」と連動した「小児がん征圧募金」は、4月から2018年3月末までに大口寄付の1

件2,147万円を含む81件2,321万円（前年72件2,233万円）が寄せられた。3月に贈呈式を開き、次の11団体に各50万円ずつ計550万円（AK基金1・2からの498万円を含む）を贈呈した。

1. チャイルド・ケモ・ハウス（神戸市）
2. 日本クリニクラウン協会（大阪市）
3. 近畿小児血液・がん研究会（大阪府吹田市）
4. 京都大学医学部附属病院小児科ボランティアグループ  
「にこにこトマト」（京都市）
5. 京都ファミリーハウス（京都市）
6. あいち骨髄バンクを支援する会（名古屋市）
7. 守口ぶどうのいえ（大阪府守口市）
8. TSURUMI こどもホスピス（大阪市）
9. JHDAC (Japan Hair Donation&Charity)（大阪市）
10. しぶたね（大阪府大東市）
11. ふくふくばるーん（名古屋市）

上記、2,321万円の内2,147万円は昨年、一昨年の「AK基金1（AK1）」「AK基金2（AK2）」と同様に、特定費用準備資金の特定資産「AK基金3（AK3）」として計上し、2018年度から新たに2026年度までの9年間、経費を含めて下記のとおり、小児がんの子どもたちの支援や研究に取り組む団体に贈呈する。

AK基金（AK1）（AK2）（AK3）各年度別支出計画（経費を含む）												
	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	合計
AK1	334万	336万				2,674万						
AK2		164万	164万	164万	164万	164万	164万	162万	498万	499万		2,143万
AK3			183万	683万	2,147万							
	334万	498万	681万	682万	683万	6,964万						

## 心身障害者福祉に関する事業

（その他特定団体や弱者への救援事業 事業区分18）

### 共催分担金事業

#### ◎第20回視覚障害者ICT・サポートボランティア講習会

（支払負担金より30万円を支出）

1997年度からの継続事業で、視覚障害者の情報環境を支える機器（インフォメーション・コミュニケーション・テクノロジー）を利用する視覚障害者に、操作方法などを教える指導者養成のための講習会。希望者を公募しiPhone、スマートフォンなどについても学ぶ。日本ライトハウス情報文化センターと共催。

- ① 5月13日、開講式、ICT利用最前線、26人
- ② 5月27日 ブレイルメモスマート体験講習会、3人

- ③ 6月10日 デイジー総ざらい 30人
- ④ 6月24日 ネットショッピング講習会 4人
- ⑤ 7月29日 iPhone体験講習会 14人
- ⑥ 7月29日 らくらくスマホ体験講習会 14人
- ⑦ 9月9日 UDCast体験講習会 25人
- ⑧ 11月10日 iPhone体験講習会 10人
- ⑨ 11月25日 ネットショッピング講習会 5人
- ⑩ 18年1月20日 ブレイルメモスマート体験講習会 4人
- ⑪ 18年1月27日 iPhone体験講習会 28人
- ⑫ 18年2月24日 ファッションコーディネートアプリ体験会 12人
- ⑬ 18年3月24日 ブレイルセンス相談会・ブレイズET体験会 17人

◎第30回専門図書点訳・音訳講習会 (支払負担金より100万円を支出)

専門図書の点訳、音訳の技術を修得するための講習会で、受講後は点訳・音訳ボランティアとして活躍してもらおう。日本ライトハウス情報文化センターと共催。

・専門点訳講習会「教科書・教材点訳コース」

概論・講演は必須、それ以外は関心のある教科を選択して受講する。

- ① 7月14日 概論・講義(全1日・必修) 62人
- ② 7月21日 国語(全1日) 23人
- ③ 7月28日 英語(全1日) 19人
- ④ 8月4日 算数・数学(全1日) 19人
- ⑤、⑥ 8月18、25日 理科(全2日) 18人
- ⑦、⑧ 9月1、8日 社会(全2日) 18人
- ⑨ 9月15日 その他の科目(全1日) 13人

・専門音訳講習会「視覚的資料音訳コース」

1回2日間の連続講座を3回実施。

- ① 6月7、8日 21人
- ② 6月29、30日 21人
- ③ 7月7、8日 20人

◎「声の点字毎日」の発行 (支払負担金より10万円を支出)

全国の国立ハンセン病療養所で生活している視覚も皮膚感覚も失った人たちに点字毎日の「声の点字毎日デイジー版(月2回発行)」を寄贈する事業。費用の一部を、東京・西部事業団とともに10万円ずつ分担した。

(表彰、コンクール事業 事業区分14)

◎第86回全国盲学校弁論大会全国大会 (支払負担金より20万円を支出)

10月6日、広島県立広島中央特別支援学校(広島市東区)で開かれ、静岡県立浜松視覚特別支援学校高等部専攻科理療科2年の望月達哉さん(28)が優勝した。毎日新聞社点字毎日、全国盲学校長会と共催。本団は2002年度から共催に加わる。費用の一部を、東京事業団が20万円、西部事業団も10万円分担した。(1928年～)

## その他の社会福祉事業団体の事業助成

(助成(応募型)事業 事業区分13)

◎公募福祉助成金制度 (支払助成金より60万円を支出)

国内外の地域で福祉活動に取り組む団体や先駆的事业でどこからも援助がない団体などへ、一般公募による事業助成金制度。歳末たすけあい運動と連動して、11月11日に紙面告知。1月30日に選考委員会を開き、申請のあった24団体の内、下記4団体に総額60万円を贈呈。

1. きつおんサポートネットワーク(名古屋市) 助成金額20万円
2. 話し相手ボランティア「ひだまり」(兵庫県三田市) 助成金額10万円
3. すいた障害当事者連絡会(大阪府吹田市) 助成金額10万円
4. 大阪YWCA点字子ども図書室(大阪府吹田市) 助成金額20万円

心身障害者特定団体助成・後援事業(文末のカッコ内は:支払助成金)

\*第52回全大阪ろう社会人軟式野球秋季大会=7月9、23日と8月6日、大阪府久宝寺緑地公園軟式野球場などで開催。本団が助成後援した。(レプリカ代1万円)

\*第42回わたぼうし音楽祭=9月10日、奈良市の奈良県文化会館で開かれ、わたぼうし大賞に新潟市の乙川正純さん(52)作詩、北茨城市の倉持祥子さん(31)作曲の「生き切って」が選ばれた。奈良たんぼぼの会の主催。毎日新聞社とともに本団が助成後援した。(大阪20万円・東京10万円・西部5万円)

\*第45回愛知心理療養キャンプ=8月18~23日、愛知県南知多町のホテル豆千待月で開催。本団が助成後援した。(3万円)

\*名古屋市視覚障害者協会が発行する機関紙「のぞみ」第38号発行

1月に発行する発行費用を助成した。(3万円)

その他目的を達成するために必要な事業

(表彰、コンクール事業 事業区分14)

◎毎日社会福祉顕彰 (支払負担金より167万円を支出)

毎日新聞大阪社会事業団創立60周年記念事業として始まり、47回目。社会福祉の分野で献身的な活動をしている個人、団体を顕彰する。毎日新聞紙上などで3月から公募し、5月末に応募を締め切る。厚生労働省や大学教授らからなる審査委員会を経て、次の3件が選ばれた。贈呈式は10月11日に東京都千代田区のレストラン「アラスカ」で行われ、賞牌と賞金(1件につき100万円)を贈った。

◇社会福祉法人「子どもの虐待防止センター」=松田博雄理事長(東京都世田谷区)

子どもの虐待の早期発見と虐待のない育児を支援するため、1991年に設立。民間団体の先駆けとして、電話相談の傍ら、児童相談所との連携を積極的に進めた。さらに育児に悩む親への支援、子どもと養育者の愛着形成プログラムや、医師を対象に性虐待を受けた子どもの診察トレーニングを行うなど幅広く活動を展開してきた。

◇江頭邦子さん＝特定非営利活動法人「アクティブ」理事長（佐賀市）

難病患者の社会参加を後押しする作業所を2002年、佐賀県で初めて開設。患者に寄り添った活動を続け、二つの特定非営利活動法人も設立。昨年は患者同士が情報交換できるサポートセンターを開いた。自らも40代で膠原病が判明し、体に痛みを抱えながらも家事や仕事をした経験を原動力にしている。

◇社会福祉法人「北海道光生舎」＝高江智和理理事長（北海道赤平市）

炭鉱事故で負傷した労働者らの自立支援のため1956年に父（故人）が創業したクリーニング業を、障害者自ら働く場を作り出す「企業授産」という独自の理念とともに受け継いだ。「一般企業と競い合いたい」としてビジネス的視点で福祉施設の運営まで幅広く手がけ、積極的な顧客開拓などで利益を障害者に還元している。

#### （キャンペーン、〇〇月間事業 事業区分8）

##### ◎歳末たすけあい運動

11月10日～12月22日にかけて「歳末義援金募集」や「チャリティー名士寄贈書画工芸作品 入札・即売会」などの催しを実施。義援金や収益金は、今後1年間の社会福祉事業に役立てられる。

##### \* 歳末義援金募集

社告や特集に加え、これまでの寄付者などへのダイレクトメール送付で歳末義援金を募った。寄せられたのは887件977万円で前年度より230万円減。配食サービス車を贈るほか、公募助成金などをはじめとする公益事業1（国内外の福祉に関する事業）の資金として活用する。

##### \* チャリティー名士寄贈書画工芸作品入札・即売会

12月9日～11日、毎日新聞ビル地下のオーバルホールで開催。3月末までの最終年間売上額は1,886万円（12月の終了時点では1,873万円：東日本大震災支援コーナーの14万円を含む）で昨年比124万円増となった。以上の事業収益から、65万円を歳末慰問金として次の6団体に贈呈したほか、公益事業1の資金として活用する。

##### （支払助成金より65万円を支出）

1. 大阪子どもの貧困アクショングループC P A O（大阪市）	10万円
2. 大阪更生保護施設連盟（同）	5万円
3. 大阪家庭少年友の会（同）	5万円
4. 津市たるみ児童福祉会館（児童養護施設・三重県津市）	15万円
5. 豊橋平安寮（同・愛知県豊橋市）	15万円
6. 麦の穂学園（同・岐阜県中津川市）	15万円

\* 第50回歳末たすけあいチャリティーチャレンジ棋力認定戦・指導碁会

(支払助成金3万円、材料費として3万円を支出)

11月26日と12月3日に大阪市北区で開催。収益5万円で囲碁セット3組を製作し、漫画「ヒカルの碁」全23巻とともに、3月5日に広島県内の広島修道院など3児童福祉施設に贈呈した。スポーツニッポン新聞社、日本棋院が主催。本団の単独後援。

◎「指定寄付金事業」(支払助成金より24万円を支出)

寄付金の中で助成先が特定された寄付金。「あしなが育英会に」「愛の手運動に」など16件24万円が寄せられた。

その他の名義後援事業

とき	案件名	ところ
3月1日～5月31日 日に募集。11月に表彰式	「第15回オンキョー世界点字作文コンクール」	
4月6、7日	「西陣工房オープンデー」	京都市北区大將軍川端町3、就労継続支援B型事業所 西陣工房
4月9日	「第37回愛知県聴覚障害者体育大会」	一宮市体育総合体育館など。
4月9、23、30日	「第54回全大阪ろう社会人軟式野球春季大会」	大阪府営久宝寺緑地軟式野球場・大阪市長居公園野球場
4月15日、5月6、20、21、28日	「平成29年度愛知県障害者スポーツ大会」	名古屋市千種区の星ヶ丘ポウル、豊田市運動公園陸上競技場など
4月1日～2019年3月	関西いのちの電話 第53期「電話相談ボランティア養成講座」	大阪市淀川区十三元今里3-1-72社会福祉法人博愛社5階会議室など
4月20～22日	「バリアフリー2017」-第23回 高齢者・障がい者の快適な生活を提案する総合福祉展-	大阪市住之江区のインテックス大阪
4月23日	「第35回日本ライトハウス チャリティコンサート」	大阪市北区のザ・シンフォニーホール
4月25日～11月19日	「第14回名古屋市障害者スポーツ大会」	名古屋市のパロマ瑞穂スタジアムなど
5月18～20日	「第20回国際福祉健康産業展～ウェルフェア2017～」	名古屋市のポートメッセなごや(名古屋市国際展示場)
5月28日	「第24回共生・共走リレーマラソン」	大阪市鶴見区の花博記念公園・鶴見緑地内
6月3日	「共に生きる21」	大阪府箕面市の箕面市立メイプルホール大ホール
7月8日～2018年2月4日	平成29年度「児童養護施設等入所児童及び里親委託児童に対する自立生活技術講習会(ソーシャル・スキル・トレーニング)」	大阪市立社会福祉センター(大阪市天王寺区)など
7月9日	「第34回愛知県聴覚障害者大会」	名古屋市熱田区の名古屋学院

		大学白鳥学舎
7月15日	平成29年度合同求人説明会「福祉の就職総合フェア2017 in OSAKA」	大阪市住之江区南港北のインテックス大阪2号館
7月29、30日	「第30回記念全愛知ろう社会人軟式野球秋季大会 兼 第42回全日本ろう社会人軟式野球選手権大会派遣選考会」	口論義運動公園野球場(愛知県日進市)
8月1～6日	「第38回子どもたちの讃歌展」	大阪市立美術館 地下展示室 1・2
8月4日	「第67回施設従事者激励会」	大阪市天王寺区の「新歌舞伎座」
8月7～12日	「第34回土と水と緑の学校」	和歌山県新宮市の高田地区一帯
8月8日～9月8日	第3回全日本若手障害者リーダー育成留学“ターニングポイント@RYUGAKU”	国内と海外
8月27日	「第58回大阪知的障がい者福祉大会(大東大会)」	大東市立総合文化センター サータィホール(大東市新町13)
10月7日	「生き生き長寿フェア2017」	愛知県大府市、知多郡東浦町の「あいち健康の森公園」
10月14、15、21、22日	「第36回スポーツフェスタ2017大阪」	大阪市のヤンマースタジアム長居(長居陸上競技場)など
10月14日	「第53回肢体不自由児者を支援するチャリティバザー」	大阪市港区弁天1-2-4、オーク200、2階アトリウム
10月15日	「ファインエリアフェスティバル2017」	堺市南区城山台5の府立障がい者交流促進センター(ファインプラザ大阪)など
10月19日	「民生委員制度創設100周年記念・第65回愛知県社会福祉大会」	名古屋市中区の愛知県体育館
10月22日	「第45回全大阪ろうあ者文化祭」	大阪市長居障がい者スポーツセンター(大阪市東住吉区長居公園1-32)
10月28日	「素のままフェスタ2017」	大阪府豊中市の市立アケア文化ホール
11月14日	「第18回大阪救護施設合同文化事業」	大阪市都島区の「太閤園」迎賓館3階ダイヤモンドホール
11月17日	「平成29年度大阪府社会福祉大会」	大阪市天王寺区の大阪国際交流センター・大ホール
11月18日	「平成29年度 医療社会事業従事者講習会」	大阪府中央区のシキボウホール7階大ホール
11月19日	「第62回名古屋市身体障害者福祉大会」	名古屋市昭和区の昭和文化小劇場
12月03日	「第57回愛知県身体障害者福祉大会」	日進市民会館(日進市折戸町笠寺山62-3)
18年1月19～23日	「第37回『障がいのある子どもに学ぶ』図工展」	大阪市長居障がい者スポーツセンター
2月06～12日	「第52回名古屋市障害者作品展示会」	名古屋市瑞穂区の名古屋市博

		物館ギャラリー
2月15～17日	「2018国際親善女子車いすバスケットボール大阪大会」	大阪市港区の市中央体育館
2月25日	「安心して長期療養ができるように！難病患者の医療・福祉を考える『府民のつどい』」	大阪市中央区のエル・おおさか
3月3日	平成29年度合同求人説明会「福祉の就職フェア SPRING in OSAKA」	大阪市西区の京セラドーム大阪
3月4日	「第36回耳の日記念聴覚障害者と県民の集い」	知多市の知多市勤労文化会館
3月16～4月11日	「世界ダウン症の日写真展in大阪2018」	大阪市立中央図書館1階

## 公益事業 2 シンシア基金事業（事業種別 3）

（キャンペーン、〇〇月間事業 事業区分 8）

### ◎シンシア基金（支払助成金より54万円を支出）

身体障害者をサポートする介助犬への理解を深め、育成や研究活動に役立てるため1998年から阪神支局が始めたキャンペーンと連動して募金を開始した。

3月末までに寄せられた「シンシア基金」は36件94万円（前年45件131万円）となった。

身体障害者補助犬の社会的認知を促進するため、毎日新聞社や宝塚市などで行く実行委員会が主催する身体障害者補助犬シンポジウム（11月26日、宝塚市のアピアホール）の経費として54万円を支出した。

（助成（応募型）事業 事業区分13）

### ◎シンシア基金助成事業（支払助成金より50万円を支出）

身体障害者補助犬（盲導犬・介助犬・聴導犬）支援に関わる団体などに対する公募助成金制度。11月に紙面で一般公募し、1月30日に選考委員会を開催。申請のあった4団体の内2団体に50万円を贈呈した。

1. 日本介助犬協会（本部は横浜市、訓練センターは愛知県長久手市）

助成金額20万円

2. 兵庫介助犬協会（兵庫県西宮市）

助成金額30万円

### その他の名義後援事業

◇「介助犬フェスタ2017」を名義後援＝5月20日、愛知県長久手市の愛・地球博記念公園内、地球市民センターで開催。日本介助犬協会の主催。

## 公益事業 3 災害救助に関する事業（事業種別 3）

### ◎災害救援基金事業

#### \*九州豪雨災害救援金（支払助成金より1,200万円）

\*トピックスで紹介。3ページをご参照ください。

#### \*熊本地震救援金（支払助成金より230万円を支出）

熊本県を中心に発生した強い地震で甚大な被害が出たことから2016年4月15日付朝刊から「熊本地震救援金」の募集を開始し、翌年3月末までに5,900万円を熊本県や日本赤十字社熊本県支部へ送った。今年度は3月末までに昨年度の繰越額と併せて同熊本県支部へ230万円を贈呈した。今回で寄託総額は6,130万円となる。

### ◎東日本大震災救援事業

#### \*東日本大震災被災者救援金（支払助成金より150万円を支出）

3月末までに73件143万円が寄せられた（総合計7,817件4億8,021万円）。

第16次分として、昨年度の繰越し額と併せて150万円を日本赤十字社に寄託。今回で寄託総額は4億6,877万円となる。

**\* 毎日希望奨学金制度** **（支払助成金より4,656万円を支出）**

東日本大震災で保護者を亡くした震災遺児の学業を支える「毎日希望奨学金」（大阪・東京・西部の事業団、毎日新聞社で創設）は、7年目を迎え、奨学金基金への募金を毎日新聞紙上などで呼びかけた。今年度は3月末までに780件5,305万円が寄せられた。

（2011年度からの合計15,260件8億8,398万円：東京・西部事業団分含む）

2017年3月9日付朝刊で「奨学生募集」の社告を掲載するとともに、被災地の高校や大学などに直接照会をかけた。50人の募集枠に対して82人が応募。

5月8日に奨学生選考委員会が開かれ、全員一致で82人に支給が決定。奨学生数は継続者と合わせて194人（高校生97人、短大・大学・大学院生79人、専修学校生18人）になった。2018年1月までに4,656万円を支給した。

・ 4月25日、110人（4、5、6月分）	660万円を支給
・ 6月23日、84人（4、5、6月分）	504万円を支給
・ 7月25日、194人（7、8、9月分）	1,164万円を支給
・ 10月25日、194人（10、11、12月分）	1,164万円を支給
・ 1月25日、194人（1、2、3月分）	1,164万円を支給

合計4,656万円

**その他の名義後援事業**

◇「大阪城JAZZ Festival2017」を名義後援＝6月10、11日、大阪市中央区の大阪城野外音楽堂で開催。会場内で募金箱を設置し、熊本地震救援金に寄託した。大阪城Jazz Festival実行委員会の主催。

## 公益事業 4 国際協力に関する事業（事業種別 15.16）

（キャンペーン、〇〇月間事業 事業区分8）

**◎世界子ども救援キャンペーン** **（委託費より99万円を支出）**

\* トピックスで紹介。3ページをご参照ください。

国際児童年（1979年）に毎日新聞社との共催で「飢餓・貧困・難民救済キャンペーン」としてスタート。

なお、取材経費は大阪、東京、西部事業団で（4：4：2）の割合で分担し、本団からは99万円を支出した。

**\* 報道写真展「輝き探す闇～東南アジアの零細金採掘」**

今回の取材をもとに、報道写真展「輝き探す闇～東南アジアの零細金採掘」

(カラー写真33枚)を京都市北区の立命館大学衣笠キャンパス平井嘉一郎記念図書館1階ギャラリー(11月1日～12月21日)と、大阪市北区の堂島アバンザ1階エントランスホール(2018年2月6日～12日)で開催。また、大阪府茨木市の立命館大学大阪いばらきキャンパス立命館いばらきフューチャープラザ2階OICライブラリー展示室(5月11日～31日)でも開催している。

**\* 世界子ども救援金**

読者らから寄せられた「世界子ども救援金」は、3月末現在403件766万円。

広く一般から申請を受け付けた「公募助成」と、今回のキャンペーンで紙面掲載された地域や団体を中心にした「取材地助成」、これまでの取材地で引き続き必要と判断された「継続助成」の3つの支援を行う。いずれも活動内容、実績などから選考している。また、MH基金(2015年度の大口寄付金が原資)からの助成も今年度で2年目を迎えた。

(助成(応募型)事業 事業区分13)

◎「世界子ども救援金」公募助成金制度

6団体へ総額110万円を贈呈 (支払助成金より110万円を支出)

1. マナムニ母子寮関西連絡所	20万円
2. シェラレオネフレンズ	20万円
3. 日本国際ボランティアセンター	20万円
4. ネパール・ヨードを支える会	20万円
5. ネパール震災プリタム実行委員会	20万円
6. ラリグラス	10万円

◎「世界子ども救援金」取材地助成

4団体へ総額170万円を贈呈 (支払助成金より170万円を支出)

1. 日本ILO協議会	50万円
2. Ban Toxics	50万円
3. EDAYA	50万円
4. チャイルド・ファンド・ジャパン	20万円

◎「世界子ども救援金」継続助成

4団体へ110万円を贈呈 (支払助成金より110万円を支出)

1. アジア協会アジア友の会	20万円
2. 国境なき医師団日本	30万円
3. 国際連合世界食糧計画WFP協会	30万円
4. 国連UNHCR協会	30万円

2017(平成29)年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2018(平成30)年5月  
 公益財団法人 毎日新聞大阪社会事業団  
 以上